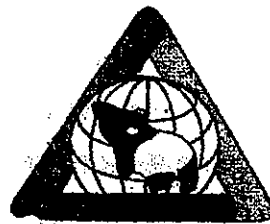


エコネット町田 通信

ECONET Machida Newsletter



第26回 定期総会の報告

5月24日に開催予定の第26回定期総会は緊急事態宣言下、新型コロナウイルス感染症防止の観点と予定していた会場が閉鎖されたため、急遽中止し書面表決に変えましたし。

会員の皆さんには書面による審議をお願いし、メールによる承認が9名、ハガキによる承認が12名で32名の過半数で得て承認されました。以下、簡単に報告いたします。

<課題と今後の対応方針>

近時、会員の高齢化にともない実際に稼働できる会員人数が減っています。新規の会員も増えてないのが現状です。また現会長に代わる後任が見当たらないことあり、今後徐々に見直しを行く方向にします。

具体的には、これからの活動は、①河川の定期清掃活動の継続、②近隣小中学校との河川でのフィールドワークの二つを中心に展開していくことにします。

他の諸活動を見直し、身の丈にあった活動に切り替えることにします。

会長が関わっている関係諸団体の役員など引受けも徐々に見直します。

拡大中の新型コロナウイルス感染症への対応は予断を許さない状況が続くと思われま

す。これらの動向に留意して対応して行く予定です。すでに実施先の小学校の4年、5年生への総合学習として河川近隣での野外学習先(恩田川:4校、境川:1校、真光寺川2校)からは好評を頂いています。

引き続き継続実施の声がかかっており、これからも極力応えていきます。皆様よろしく申し上げます。(瀬川記)

<今年度の体制>

名誉会長	山口 拓郎
会長	瀬川 晋
会計幹事	山本 隆治
幹事	三遊亭らん丈 杉山 誠
会計監査	沖 悦子

廃プラスチックを考える

非常事態宣言が解除されたので6月に恩田川の清掃を3ヶ月ぶりに行いました。ペットボトルやレジ袋などが川底、川辺に沢山散在しており、ごみの多くがいわゆる廃プラスチック（以下、廃プラ）で、マスクも捨てられているのが気になりました。7月からはレジ袋の完全有料化がはじまります。そこで廃プラ問題について少し調べてみましたので報告いたします。

日本の廃プラの年間発生量は約900万トンとされています。うち6割が発電の熱源や化学品の原料に使われ、日用品や雑貨に約2割で、このうち半分が海外で再生される形で中国や東南アジアに輸出していました。

2015年頃から海洋プラごみが国際的な問題となり地球環境面から論議されています。廃プラの輸出国であった中国が2017年に輸入の禁止措置をとることになりました。日本は国内の廃プラを再生プランとして中国や東南アジアに流出させていたので、輸出が出来なくなるとなり対応に苦慮することになりました。

① 2016年1月、スイスのダボス会議での報告がきっかけ

世界のプラスチック生産量は1964年～2014年に20倍に急増し、3億1100万トンに拡大し、うち毎年800万トンのプラスチックが海に流失している。一方プラスチック容器のリサイクル率は14%にとどまり、リサイクルを促進し、海に流失を防ぐことが急務となりました。

このようなリサイクル施策をしないと海のプラスチックの量は2050年までに魚の量を上回ると想定され、世界的な問題になっています。

そこで我が国は2019年5月に次のように「プラスチック資源循環戦略」を策定し、これに基づいて展開することになりました。

② 「プラスチック資源循環戦略」の概要

この戦略は、2018年6月の第4次循環型社会推進基本計画が閣議決定されたことを受けて策定されました。

重要基本戦略として、リデュース・リサイクルによる資源循環の拡大、海洋

プラ対策、東南アジアを含めた国際展開の対応を行うものとし、環境省が消費者庁・外務省など関連省庁とでとりまとめました。

この戦略は国民各界・各層との連携を強化し、所定の年次を定め次のような野心的な数値目標を掲げています。これらの達成には国民一人一人の長期にわたる努力が求められこととなります。

- ・ 2030年までにプラスチック製容器包装の6割をリサイクル又はリユースする。
- ・ 2030年までにバイオマスプラスチックを最大限約200万トン導入する。
- ・ 2030年までに使い捨てのプラスチック排出量を累積で25%を排出抑制する。およびレジ袋の有料化義務化（無料配布禁止など）を行う。」
- ・ 2035年までに全ての使用済みプラスチックを熱回収も含めて100%を有効利用する。

③ 7月1日からレジ袋の有料化義務化（無料配布禁止）のスタート

日本で一人当たりの捨てられるプラスチックのごみは米国に次いで世界2位で、レジ袋では一人当たり毎日1枚をごみにしていると言われている。

イギリス、フランスなどではすでにレジ袋の使用禁止や有料化が実施されています。今般「容器リサイクル法」の省令改正でレジ袋の有料化義務化（無料配布禁止）がスタートします。

国民のライフスタイルを変え、リサイクル・リデュースの徹底を狙うものです。エコバック使用が求められこととなります。

川の清掃でのレジ袋のごみが今後、減少していくことを願っています。

最後に、注目されているマイクロプラスチックについて

マイクロプラスチックは5mm以下の微細なプラごみで、最初からマイクロサイズで製造されたもの（洗顔料・歯磨き粉などスクラブ材に利用されているもの）で排水溝を通じて海に流失したものと、大きなサイズのプラスチック製品が自然環境の中で紫外線や熱、波の力で破碎されやものに大別されます。魚や鳥など生物の体内に入ると、中に含まれる有害な化学物質が蓄積され懸念が広がってきました。（瀬川記）

新型コロナ 関係・関連イベントの中止が続く！

三密を避け、コロナウイルスに感染しないようにと国・自治体から様な自主規制が続いています。このため、私達が参加・関係するイベントの中止が続いており、皆様はステイ・ホームでの暮らしが続いているでしょう。

5月24日(日) 境川クリーンアップ作戦

7月25日(土) 真光寺川のかわ祭り

10月4日(日) 第29回 町田エコフェスタ

真光寺川のかわ祭りは就学前の小さい子供さんが多く集まるのでやむを得ないでしょう。町田エコフェスタは当会が永年、広報部会を担当し啓蒙活動に注力し、ポスターやチラシも出来ているだけ残念です。



行 事 案 内

行事名	実施場所	7月	8月	9月	10月	開始時間
恩田川清掃	坂下橋付近	2	7	3	1	10時
真光寺川清掃	真光寺川全域	12	9	13	11	9時半
境川清掃	鹿島橋付近	9	—	10	—	10時
推進連絡会	フォーラム4階活動室	26	23	27	25	14時

- ・エコネット町田通信 第99号 2020年6月28日発行
- ・発行人 瀬川 晋
- ・郵便番号 194-0031 町田市南大谷 1327-128 Tel 042-722-2827
- ・エコネット町田HP <http://ekonetmathida.web.fc2.com>